資　料　５

審議ポイント標準項目一覧

平成２２年　７月　７日
国土交通省　東北地方整備局

平成22年度　第1回事業評価監視委員会（河川関係）　審議ポイント標準項目一覧

【再評価】

※注1）事業費：上段は今回、下段は（前回）

事業名	NO	県	事業箇所名	評価対象理由	前回評価時の評価理由	前回評価年	事業化用地着工工事着工	概成目標年	事業費（億円）※注1）	進捗率	費用便益比 B／C		純現在価値 NPV（億円）	経済的内部収益率 EIRR	社会情勢の変化	備考
											今回	前回				
ダム	1	秋田	成瀬ダム建設事業	再評価後5年	再評価後5年	H17	H9	H29	1,530 (1,530)	15.8%	1.58	1.19	706.0	11.40%	成瀬川、皆瀬川沿川及び雄物川沿川における人口・資産等の社会情勢及び地元情勢に関しては、近年大きな変化はない。 雄物川水系では、これまで洪水による被害が相次いでおり、地元自治体や住民からは早期完成の期待が高まっている。 湯沢市、横手市、大仙市水道事業並びに国営かんがい排水事業等関係事業についても事業が進捗しており、事業者からも早期完成が求められている。	・平成21年12月に国土交通大臣が表明した方針に基づき、成瀬ダム建設事業は検証対象に区分されている。 ・この検証が完了するまでの間、予断を持たず事業を管理するため、成瀬ダム建設事業については、本体工事の段階に入らないことを条件に継続することの妥当性を、限定的に再評価することとした。 ※前回の再評価 ・平成17年度事業評価監視委員会（第3回） ・日時：平成18年1月31日（火）13:00～17:00 ・審議結果：継続が妥当

平成22年度　第1回事業評価監視委員会（道路）　審議ポイント標準項目

【再評価】

事業名	NO	県	事業箇所名	供用延長／計画延長	車線数	評価対象理由	前回評価時の評価理由	前回評価年	事業化年度 都計決定又は変更年度 用地着工年度 工事着工年度	供用目標	事業費（億円）						費用便益比		B/C感度分析【上段：残事業、下段：全線】						純現在価値NPV（億円）※1	経済的内部収益率EIRR ※1	H42計画交通量（台／日）		代表的な整備効果	社会情勢の変化等
											完成		暫定		（内用地費（億円））		B/C		交通量変動		事業費変動		事業期間変動				バイパス	現道		
											全線	進捗率	全線	進捗率	全線	進捗率	残事業	全線	＋10	－10	＋10	－10	＋20	－20						
道路	1	岩手45号	高規格 釜石山田道路	0Km／23.0Km	4	前回再評価後3年経過継続	再評価後5年経過	H17	H5 H8 H13 H16	【平成22年度　L=4.6km暫定2車線供用】	910	21%	590	32%	60	45%	1.8	1.2	2.0 【1.4】	1.5 【1.1】	1.6 【1.1】	2.0 【1.4】	1.6 【0.9】	2.0 【1.5】	419 【186】	6.2% 【4.8%】	10,200	2,100	①東北地方太平洋側の広域交流・連携の促進 ②地域医療サービスの向上 ③緊急輸送路の信頼性向上	－
道路	2	岩手45号	高規格 宮古道路	4.8／4.8km	4	事業採択後5年経過継続	－	－	H15 H14 H17 H17	【平成20年代中頃全線暫定供用予定】	190	66%	152	82%	23	52%	6.4	1.9	6.8 【2.0】	5.9 【1.8】	5.7 【1.8】	7.1 【2.1】	5.9 【1.6】	6.8 【2.2】	312 【175】	20.6% 【7.1%】	14,100	6,800	①東北地方太平洋側の広域交流・連携の促進 ②地域の交通混雑緩和・事故減少 ③地域産業の支援	－

※1：上段は残事業、下段【　】書きは全体